

各推進事業の取組状況（外部評価対象事業）

目標Ⅱ 社会における制度や慣行を見直し教育・学習等を通じて多様な生き方ができるまちづくり

施策の方向	基本的施策	事業番号	推進事業	事業内容	R3年度事業実施状況	前年度の評価を踏まえて男女共同参画に配慮した点	数値目標NO.	数値目標の達成状況	年度ごとの自己評価					所管課	局名
									年度	自己評価	自己評価を選択した理由	今年度の取組における男女共同参画推進の課題	男女共同参画推進の課題解決に向けた今後の取組		
3 男女共同参画を推進する教育・学習の充実	① 学校教育での取組	6 I に再掲	学校における人権教育の推進	様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成するとともに、教職員の更なる人権意識の高揚を図ります。このため、校内人権教育研修会・講演会の支援、人権標語・人権作文の募集及び表彰、さらに実践事例集や人権文集、人権ニュースの作成等に取り組みます。	<p>学校における人権教育は全教育活動を通して行われることから、管理職をはじめ、キャリア段階に応じた人権教育研修会を実施した。また、市立学校において、校内人権教育研修会・講演会を積極的に実施できるよう、講師の紹介、謝金補助等の支援を行った。</p> <p>人権啓発資料としては、研究指定校の実践例や授業にそのまま活用できる人権課題別学習指導案等を掲載した「ほほえみ～新人権教育実践事例集～」を作成し、全ての教職員に配布した。また、小学校第1学年の保護者へ児童虐待防止啓発リーフレットを作成、配布した。</p> <p>人権標語・作文については、市立小・中・中等教育学校児童生徒に対し募集を行い、最優秀作品受賞者を表彰し、優秀作品を掲載した人権文集や人権標語短冊を作成、配布した。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育研修会…5回</li> <li>・校内人権教育研修会・講演会…21校、23回</li> <li>・人権標語・作文の募集と表彰標語…89,714作品</li> <li>・作文…69,183作品の応募</li> <li>・最優秀作品表彰式</li> <li>日時:令和3年11月28日(日)</li> <li>場所:教育研究所</li> <li>対象:最優秀賞受賞者17名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほほえみ(新人権教育実践事例集)…4,000部</li> <li>・人権教育ニュース第47・48号…各5,900部</li> <li>・人権文集…4,100部</li> <li>・人権標語短冊…6,450部</li> <li>・デートDV防止啓発リーフレット…15,000部</li> <li>・児童虐待防止啓発リーフレット…13,000部</li> </ul>	<p>人権教育啓発資料作成の際には、男女それぞれの委員の意見を尊重した。また、男女をはじめ、性に関する研修会・講演会の積極的な開催を支援した。</p> <p>「ほほえみ～新人権教育実践事例集～」に、性的指向・性自認に関する人権を取り扱った指導案を掲載した。</p>	10	R1	A	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言等の影響を受けたが、開催方法を変更するなど、工夫して実施することができた。性に関する研修会・講演会は3校4回であった。啓発資料の配布にあたっては、説明しながら活用方法を示すなど、より効果的に活用してもらえよう工夫した。	各学校における校内人権教育研修会・講演会の更なる実施が必要である。また、児童生徒が授業等で学んだ知識等と家庭や地域社会において固定的な性別役割分担に日常的に触れる現状の間に乖離がある。	人権教育研修会において、市立学校校内人権教育研修会・講演会の実施例等の紹介を行い、積極的な実施を促していく。関係部局と連携し男女共同参画の意義や重要性を、家庭や地域に幅広く発信していく必要がある。	人権教育推進室	教育委員会	
								R2	A						
								R3	A						
								R4							
									R5						
		39	キャリア教育の推進	生徒が主体的に進路選択できる資質を育成するためのワークシートの作成・配布や、中・高等学校の教員を対象とした「さいたま市進路指導・キャリア教育連絡協議会」を開催するなど、各学校と協働し、進路指導・キャリア教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に進路選択できる資質を育成するためのさいたまキャリアシート(キャリア・パスポート)の作成・配付をした。</li> <li>・オンラインで市立学校の教員が参加する「さいたま市進路指導・キャリア教育研究協議会」を開催し、進路指導・キャリア教育を推進した。</li> </ul>	<p>学校教育全体を通じて、人権の尊重や男女の平等、男女が共同して社会に参画することや男女が協力して家庭を築くことの重要性など、生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を培うキャリア教育を取り入れた。</p>		R1	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育について小・中・中等・高等学校の校種間で連携し、継続的な指導を行うために、「さいたまキャリアシート(キャリア・パスポート)」の効果的な活用の仕方を、研修会を通して周知することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立学校の教員が参加する協議会を開催し、その中で、男女共同参画にも配慮したキャリア教育を進めることが必要であることを十分に伝達する必要がある。</li> </ul>	指導1課	教育委員会		
					R2	A									
					R3	A									
					R4										
					R5										
		40	さいたま市中学生職場体験事業「未来(みらくる)ワーク体験」	<p>市立中学校・特別支援学校の生徒に、勤労観、職業観を育み、学ぶことの意義を考える機会となる、さいたま市中学生職場体験事業「未来(みらくる)ワーク体験」を実施します。</p> <p>【数値目標】</p> <p>「仕事をすることは人の役に立つことだ」と思うと回答した生徒の割合」 89.1% (平成29年度末) →94.8% (平成35年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6校にて職場体験を実施。</li> <li>・その他の学校は、講演会等代替となる活動を実施。</li> <li>・事業啓発のため、事業所設置用の卓上POPの作成</li> <li>・市Webサイトの更新</li> </ul> <p>【実績】</p> <p>「仕事をすることは人の役に立つことだ」と思うと回答した生徒の割合」 90.4% (令和3年度末)</p>	<p>性別に関わりなく、自分の個性と能力を十分発揮できる進路を選択することができるよう体験事業所決定の際に配慮した。</p>	10	○	B	令和3年度、仕事をするのは人の役に立つことだと思うと回答した生徒の割合は、90.4%であり、9割を超える数値となっているため。	自分の個性と能力を十分発揮できる進路を選択することができるようにするために、多様な業種の協力を呼びかけ、協力事業所を増やす必要がある。	コロナ禍で受入れ事業所の減少が見込まれるので、引き続き受入れ事業所の拡大ができるよう事業の周知・啓発活動を進めていく。	生涯学習振興課	教育委員会	
					-	E									
					○	B									

施策の方向	基本的施策	事業番号	推進事業	事業内容	R3年度事業実施状況	前年度の評価を踏まえて男女共同参画に配慮した点	数値目標NO.	数値目標の達成状況	年度ごとの自己評価					所管課	局名
									年度	自己評価	自己評価を選択した理由	今年度の取組における男女共同参画推進の課題	男女共同参画推進の課題解決に向けた今後の取組		
3 男女共同参画を推進する教育・学習の充実	② 家庭教育への取組	41	親の学習、家庭教育学級等の実施	子育て中の親同士が自分自身や子育てについて改めて考え、様々な学びを通して気付くことにより、親として成長することを目的としたワークショップ形式による親の学習事業や、家庭における子育てについて理解を深める講座などを実施します。 【数値目標】 『親の学習事業の男性参加者の中で「満足」と回答した割合』 79.8%（平成29年度） →83.4%（平成35年度）	『親の学習事業』を生涯学習総合センター及び公民館において実施した。 家庭教育学級などを公民館において実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部講座を中止した。 ・『親の学習事業の男性参加者の中で「満足」と回答した割合』83.4% （数値未確定） ※令和4年5月上旬確定	開催曜日や内容を工夫し、参加しやすい環境をつくることで、男女それぞれが参加することができるよう配慮した。	11	◎	R1	A	『親の学習事業』を生涯学習総合センター及び公民館において、家庭教育学級などを公民館において実施した。 令和3年度の『親の学習事業の男性参加者の中で「満足」と回答した割合』が83.4%となり、一定の効果を得られたと考えられるため。	講座内容等について、より充実した内容となるよう検討する。	今後も継続して生涯学習総合センター及び公民館において『親の学習事業』を実施する。	生涯学習総合センター・公民館	教育委員会
								△	R2	D					
								◎	R3	B					
									R4						
									R5						
		42	家庭教育、子育てセミナー等の開催	小学校の就学時健診や中学校の入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象に、家庭教育に関する講座を開催します。	小学校入学前の就学時健診や中学校の入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象に、家庭教育に関する講座を開催した。 ・小学校104校中52校で実施 ・中学校及び特別支援学校60校中13校で実施	講座実施校を増やすことができるよう、講師に関する情報提供を行った。		R1	B	コロナ禍において、子育て講座の実施を見合わせる学校もあったが、実施した学校においては、一定の成果が得られたため。	講座の多くは平日に実施され、参加者のほとんどは女性（母親）である。学校行事に合わせて実施しているため休日などの日程設定が困難である。	中学校では、土曜日に実施している学校もあり、引き続き平日だけでなく、土曜日等の開催を行っていく。	生涯学習振興課	教育委員会	
									R2						B
									R3						B
									R4						
									R5						